

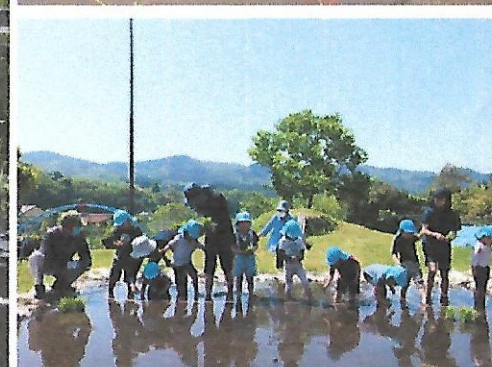
あいがも屋通信

No141 田植まつりじゃい号



5月28日、220人の参加で第34回の田植交流会を開催しました。地元の田植え歌「大山のぼりの唄」にあわせて網による田植えを子供も、大人も泥んこになって植えて、合鴨を放しました。お昼には地元食材山菜の入った田植弁当と、地元の方による交流ステージを観覧して一日里山を満喫していただきました。

栗田小学校と田森保育所の子供たちも田植えをしました。田植えの日には地元の方が田植え太鼓やエールを送っていただきました



←地元の比婆荒神神楽、子供神楽塾の勇壮な舞

↓子供たちも大興奮の最新トラクターうん、でも屋根には乗らないで… (ヤンマーのボンネットは頑丈でした)



No.34

(株)藤本農園

食べてみんさい
わたらの作った東城米
アイガモひとめぼれ

農業不使用！環境負担の少ないお米

Duck Hitomebore, Please try the Tojo rice we grow!

Fujimoto Farm Co., Ltd.

Pesticide-free!
Low environmental burden rice!

Greenhouse Gas reduction

広島県産農林水産物

G7広島サミット歓迎レセプションメニュー
G7 Hiroshima Summit welcome reception Menu

広島県産農林水産物 使用食材のご紹介
Introduction of Agricultural, Forestry, and Fishery Products from Hiroshima Prefecture Used as Ingredients



G7広島サミット・合鴨米がレセプションにておもてなし

弊社のアイガモ米ひとめぼれがG7広島サミットのレセプション(前夜祭)各国の政府要人を招いてのレセプションにてアナゴ飯として使用されました。

また、農水省の薦める二酸化炭素削減の農法を「見える化」する認証にて星3つを獲得、国際メディアセンターにて展示され世界へ発信されました。

